

2021 年度(令和 3 年度)事業報告

京都私学振興会は、1963 年(昭和 38 年)5 月に設立して以来、半世紀以上の永きに亘って府内の私学の振興と教職員の福利の向上のため、多大の貢献を果たしてまいりました。

令和 3 年度も、年度当初に定めた事業計画に基づき、下記の諸事業を遂行して私学の振興発展に寄与しました。

事業の状況

[1] 私学教育充実助成金交付事業

私学関係団体の事業活動を資金面より支援する私学教育充実助成金交付事業は、私学の振興発展を目的とする当振興会にとって最も重要な事業です。

当年度も各団体より提出された申請書について助成金査定委員会において慎重な査定が行われ、その答申に基づき 4 月 9 日に下記の 6 団体に助成金を交付しました。

京都府私立中学高等学校連合会	49,000,000 円
京都府私立中学高等学校経営者協会	4,900,000 円
京都府私立中学高等学校保護者会連合会	3,400,000 円
京都府私立幼稚園連盟	34,400,000 円
京都府専修学校各種学校協会	10,000,000 円
京都府私立小学校連合会	6,500,000 円
合 計	<u>108,200,000 円</u>

[2] 顕彰奨学金事業

当振興会の顕彰奨学金制度は、平成 17 年に創設して以来 16 年目を迎え、これまで多くの私学関係者に京都私学振興会賞を授賞し奨学金を給付して、私学の教育・文化・スポーツの振興に多大の貢献を果たしてまいりました。

当年度は、新型コロナウイルスの蔓延により多くの文化スポーツイベントが中止されたため受賞者が減少しましたが、各学校より提出された受賞候補者について審査委員会において慎重な審査が行われ、優れた成果を挙げた教員・クラブ・生徒に京都私学振興会賞を授賞し、学費支弁者を病気等で亡くし修学の継続が困難となった生徒に奨学金を給付しました。

なお、授賞式は新型コロナウイルスの感染予防のため、前年度に引き続き開催を中止しました。

【各賞の受賞者】

私学振興賞Ⅰ(教育・研究・指導面で顕著な成果を挙げた教員)	1名
私学振興賞Ⅱ(特色ある教育計画を実施している学校)	8園校
文化スポーツ活動賞Ⅰ(全国優勝又は準ずる成績を挙げたクラブ)	6クラブ
文化スポーツ活動賞Ⅱ(全国優勝又は準ずる成績を挙げた生徒)	6名
奨学金(学費支弁者の死去等により就学困難となった生徒)	8名
教育研究奨励金(日々教育活動に精励している教員・グループ)	2名
京都私学振興会賞奨励金交付額	5,000,000円
京都私学振興会奨学金交付額	1,687,300円

[3] 教育機器の寄贈

府内の全ての私立幼稚園・私立小学校・私立中学校・私立高等学校及び専修各種学校に、下記の教育機器を寄贈しました。

寄贈品目	シエードチェア(日除け付腰掛椅子)	2脚
寄贈対象	私立幼稚園 115園	私立小学校 10校
	私立中学校 24校	私立高等学校 34校
	専修各種学校 24校	合計 207園校
寄贈金額	5,054,940円	

[4] 会館事業

京都私学会館は、私学関係団体の事業活動の拠点として、また私学関係者の教育研修活動の場として、私学関係団体に事務室を貸与すると共に、私学関係者及び一般利用者の会議・研修・講演会等の用に供しています。

当会館はアクセスの利便性と美しいが外観及び最新の設備を備えた会館として高い評価を頂いていますが、当年度は、新型コロナウイルスの蔓延が依然として続いているため、会議室の利用は私学関係者の利用にとどめ、一般利用客への貸与は最小限に抑制しました。

[5] 教職員福利厚生事業

教職員の福利厚生の充実は私学教育にとって重要であるため、当振興会は京都私学互助会を組織して、教職員とその家族に対し様々な福利厚生事業を行っています。

当年度も医療・慶弔・退会一時金等の給付事業や貸付金事業を確実に実施しました。なお、会員に映画・演劇・各種イベントの入場料金を補助する厚生文化事業は、新型コロナウイルスの蔓延によるイベント等の不開催のため、前年度に引き続き実施していません。

	(令和 3 年度)	(令和 2 年度)
医療・慶弔給付	8,364 千円	7,859 千円
退会一時金給付	14,933 千円	15,269 千円
貸付金	1,800 千円	1,900 千円

[6] 役員の変更

理事・監事の任期満了に伴い、令和 3 年 6 月 7 日開催の評議員会において下記の方々が役員に選任され、同日開催の理事会において藤林昭一理事が代表理事(理事長)に選任され、菅恭弘理事が業務執行理事(常務理事)に選任されました。

理 事	山 本 綱 義	(重任)	
	阿 南 孝 也	(重任)	
	北 村 聡	(重任)	
	佐々井 宏 平	(重任)	
	川 名 マ ミ	(重任)	
	長 澤 宗 一	(新任)	
	田 中 誠 二	(重任)	
	澤 田 謙 照	(重任)	
	藤 林 昭 一	(重任)	代表理事 に選任
	四 條 文 子	(重任)	
	真 城 義 麿	(重任)	
	土 屋 順 敬	(新任)	
	菅 恭 弘	(新任)	業務執行理事に選任
監 事	林 信 康	(重任)	
	藤 本 明 弘	(新任)	
	山 崎 昇	(重任)	

なお、土屋順敬評議員の理事就任に伴い、栗本嘉子先生(ノートルダム女学院中学高等学校校長)が評議員に選任されました。

[7] 地階大会議室の改修と竣工記念講演会の開催

京都私学会館は築後 30 年を経て、近年冷暖房設備の陳腐化や漏水ひび割れ等の事故が多発するようになったため、年末年始の休館期間を利用して、特に漏水の激しい地階部分の全面改修を実施しました。

今回の改修工事では、地階会議室に最新の冷暖房設備と換気設備を設置すると共に、3 台のプロジェクターによる大パノラマ画像が可能な最新の音響映像設備を設置した結果、地階会議室はこれまでの姿を一新するほどの大ホールに生まれ変わりました。

[8] 地階大ホール竣工記念講演会の開催

地階大ホール改修工事の竣工披露を兼ねて、3月12日(土)に元大阪府知事・弁護士
の橋下徹氏を講師に招いて記念講演会を開催しました。

当日は、新型コロナが蔓延中のため聴講者を100名に絞りましたが、当代一の
メンテーターの橋下徹氏による『次世代の子どもたちに何を望むか』と題する熱の
こもった講演に聴講者一同真剣に耳を傾けました。

[9] 情報の公開

公益法人は、業務運営の透明化と適切化を図るため諸情報の公開が求められてい
ます。

当振興会では、公益法人に関する法律に基づき定款・役員報酬規程・役員名簿・
予算書・決算書等の書類を事務所に備えて開示すると共に、インターネット上に京
都私学振興会と京都私学会館の2サイトのホームページを設けて、充実した情報を
広く一般に公開しています。

京都私学振興会 <http://www.kyt-shigakusinnkoukai.jp>

京都私学会館 <http://www.kyt-shigakukaikan.or.jp>

[10] 理事会等の開催・役員等名簿

理事会・評議員会・各委員会の開催状況、各事業の詳細、及び理事・監事・評議
員・各委員会委員の名簿は、後掲の附属明細書Ⅰ～Ⅴに記載の通りです。

[11] 令和3年度の収支決算状況

令和3年度の収支決算の状況は、別添の貸借対照表・正味財産増減計算書・同内
訳表・収支計算書・財務諸表に関する注記・財産目録に記載の通りです。